

ほけんだより

11月

学校保健委員会報告 特別号

11月18日(火)に、学校保健委員会を開催しました。今回は、参加していた保護者の日々の実践や学校歯科医の講話、学校医等からの助言内容について紹介します。



令和7年11月25日
かもと稻田支援学校



【テーマ】歯と口の健康づくり



歯科医に通えない状況だったため、相談して子どものできるところから始めてもらっている。早めに相談してよかったです。

保護者の声

歯科受診することができなかなか難しい状況のため、ホームケアで仕上げみがきを丁寧に行っている。

幼少期のむし歯になる前からフッ素塗布で歯科受診を始めて、継続できている。自宅では、ルーティン化して歯みがきを実施。

小学校低学年の頃、治療の音や本人の雰囲気に合わせず通院を断念していた。しかし、子どもに合う歯科医に出会い、現在通院できている。自分で通院できることを目標にしている。

学校歯科医神山先生から「口腔ケア」の講話
歯周病は全身に影響を及ぼすことや、むし歯予防について教えていただきました。

【ブラッシング】

- 柔らかめの歯ブラシで
- 歯ぐきを傷つけない力加減で
- 小さい弧を描きながら磨く

【歯と歯の隙間には】

- デンタルフロスや歯間ブラシで
- 歯の側面に当て、上下に動かす

【歯質の強化】

- フッ化物を利用
 - 甘い飲食物は多くても1日1回程度
- ★唾液は、口腔内の乾燥を防ぎ、良い環境に保つ働きで重要です。



歯科
神山先生

健康な歯ぐき
は、ピンク色
でひきしまっ
ている！！



呼吸には、鼻呼吸と口呼吸があります。口呼吸は、空気がそのまま入るため、口腔内の乾燥や細菌感染のリスクを高め、むし歯、歯周病、口臭の原因になります。



口呼吸をする原因に、アデノイド（扁桃肥大）もあります。子どもさんの様子を見られて、専門医へ相談されてください。



薬剤師 狩野先生

抗てんかん薬や血圧系の薬には、歯ぐきが腫れやすいものもあります。薬剤の影響からの出血かどうか等、主治医に相談しましょう。

今後も家庭・学校等が協力し合い、歯と口の健康づくりを進めていきます。